

平成22年3月期 第1四半期決算短信(非連結)

平成21年8月11日

上場取引所 大

上場会社名 スターバックス コーヒー ジャパン 株式会社

コード番号 2712 URL <http://www.starbucks.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役最高経営責任者(CEO) (氏名) 岩田 松雄

問合せ先責任者 (役職名) ファイナンス&アドミニストレーション統括オフィサー (氏名) 北川 徹

TEL 03-5412-7481

四半期報告書提出予定日 平成21年8月13日

配当支払開始予定日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	23,880	2.3	2,033	65.8	2,117	69.0	938	49.8
21年3月期第1四半期	23,348		1,226		1,253		626	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	657.72	654.33
21年3月期第1四半期	439.64	435.56

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	43,572	30,482	70.0	21,368.95
21年3月期	43,783	30,020	68.6	21,047.09

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 30,482百万円 21年3月期 30,020百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期		0.00		300.00	300.00
22年3月期					
22年3月期(予想)				300.00	300.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期累計期間	49,700	3.6	2,400	15.6	2,500	15.8	1,100	28.8	771.12
通期	97,000	0.4	3,800	31.0	4,000	30.7	1,800	39.7	1,261.83

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

会計基準等の改正に伴う変更	無
以外の変更	無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	1,426,494株	21年3月期	1,426,342株
期末自己株式数	22年3月期第1四半期	株	21年3月期	株
期中平均株式数(四半期累計期間)	22年3月期第1四半期	1,426,489株	21年3月期第1四半期	1,424,289株

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、リスクや不確実性を内包しております。したがって、個人消費の動向や経済環境などの諸要因の変化により、実際の業績等は記載内容と異なる可能性がありますを予めご承知おきください。

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国の経済は、輸出や生産が持ち直し、企業の業況感が緩やかな上昇傾向になりつつも、依然として企業業績悪化による雇用不安や、先行きの不透明感から個人消費の低迷が続く厳しい状況となりました。

当社が属するスペシャルティコーヒー市場におきましても、国内経済情勢の悪化を受け、消費者の節約志向が一段と高まり、個人消費が大幅に減少するという厳しい経営環境が続きました。このような状況の下、当社は次のような事業展開を行いました。

当社の強み及び特長であります「最高のコーヒー」「くつろげる空間」「パートナーによる魅力的なサービス」を生かした「サードプレイス（お客様の職場と家庭との間にあって、いつでも安心してくつろげる第三の場所）」の提供を一層強化し、ブランドの差別化に努めました。

新商品につきましては、ピバレッジでは昨年度の新商品で人気を博した「コーヒー ジェリー フラベチーノ®」を中心に、「ダーク モカ フラベチーノ®」や「ダーク モカ & ベリー フラベチーノ®」が、フードでは朝食向けのホットサンドイッチ「コーンパンズ ツナメルト」や「コーンパンズ ソーセージ&エッグ」が、大変ご好評いただきました。

また店舗展開におきましては、出店立地の選別をより強化しつつ、「新宿マルイ本館2階店」のようにコーヒーの専門性をより深めた店舗等を出店いたしました。その結果、20店舗の新規出店（うちライセンス2店舗）、2店舗の退店を行い、当第1四半期累計期間末における店舗数は872店舗（うちライセンス30店舗）となりました。

以上の活動の結果、売上高は23,880百万円（前年同期比2.3%増）となりました。厳しい経済環境に加えて、5月の新型インフルエンザの影響で取引件数が伸び悩み、既存店売上高は対前年同期比94.5%にとどまりましたが、継続的な新規出店により全体では増収となりました。

月別の既存店対前年同期比は以下のとおりです。

	月	4月	5月	6月	第1四半期累計
既存店 対前年同期比	売上高	98.3%	93.0%	92.8%	94.5%
	取引件数	95.0%	90.2%	91.2%	92.1%
	客単価	103.5%	103.1%	101.7%	102.7%

売上総利益は17,291百万円（同5.7%増）と、前年同四半期累計期間に比べて933百万円の増益となり、売上総利益率は72.4%（同2.3ポイント増）となりました。これは価格改定の効果による改善及び円高に伴う為替レート変動が有利に働いたことによるものです。

営業利益は2,033百万円（同65.8%増）と、前年同四半期累計期間に比べて806百万円の増益となりました。これは売上総利益の増加及び業務効率化による経費節減に引き続き努めた結果、販売費及び一般管理費率が63.9%（同0.9ポイント減）となったことによります。

経常利益は2,117百万円（同69.0%増）と、前年同四半期累計期間に比べて864百万円の増益、四半期純利益は938百万円（同49.8%増）と、前年同四半期累計期間に比べて312百万円の増益となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べて210百万円減少して43,572百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べて271百万円増加いたしました。これは主に収益増加に伴う現金及び預金が439百万円増加したことによるものです。

固定資産は、前事業年度末に比べて482百万円減少いたしました。これは主に減損損失処理等により有形固定資産が586百万円減少したことによるものです。

流動負債、固定負債は、前事業年度末に比べて673百万円減少いたしました。これは主に未払金の支払に伴う減少によるものです。

（キャッシュ・フローの状況）

当第1四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べて439百万円増加し、4,395百万円となりました。

営業活動による資金の増加は、2,086百万円(前年同期差1,940百万円増)となりました。これは、主に税引前四半期純利益や減損損失の増加によるものです。

投資活動の結果使用した資金は、1,281百万円(同701百万円減)となりました。これは、主に新規出店及び既存店の改装を主目的とする有形固定資産の取得によるものです。

財務活動の結果使用した資金は、365百万円(同793百万円減)となりました。これは、主に長期借入金の返済による支出の減少によるものです。

3. 業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の業績予想につきましては、本資料の公表時点では変更はございません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理)

一般債権の貸倒見積高の算定方法

前事業年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定する方法としております。

繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前事業年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理)

税金費用

当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法としております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,595,412	4,156,164
売掛金	3,021,851	3,321,195
商品及び製品	688,892	742,277
原材料及び貯蔵品	1,267,690	1,124,591
その他	2,915,055	2,874,547
貸倒引当金	23,546	25,340
流動資産合計	12,465,355	12,193,435
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	8,883,795	9,159,590
その他(純額)	3,572,296	3,882,979
有形固定資産合計	12,456,091	13,042,570
無形固定資産	1,418,973	1,443,142
投資その他の資産		
差入保証金	16,417,736	16,218,782
その他	912,882	983,393
貸倒引当金	98,195	97,532
投資その他の資産合計	17,232,423	17,104,643
固定資産合計	31,107,488	31,590,356
資産合計	43,572,843	43,783,792
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,061,159	2,415,355
短期借入金	2,000,000	2,000,000
1年内返済予定の長期借入金	239,000	239,000
未払法人税等	884,430	1,081,478
賞与引当金	13,287	-
その他	7,255,568	7,408,178
流動負債合計	12,453,447	13,144,013
固定負債		
長期借入金	425,000	425,000
役員退職慰労引当金	17,729	17,291
その他	193,989	177,143
固定負債合計	636,719	619,434
負債合計	13,090,166	13,763,448

(単位:千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,370,992	8,369,659
資本剰余金	10,946,052	10,944,719
利益剰余金	11,459,379	10,949,054
株主資本合計	30,776,424	30,263,432
評価・換算差額等		
繰延ヘッジ損益	293,746	243,088
評価・換算差額等合計	293,746	243,088
純資産合計	30,482,677	30,020,344
負債純資産合計	43,572,843	43,783,792

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
売上高	23,348,647	23,880,543
売上原価	6,990,959	6,589,204
売上総利益	16,357,687	17,291,339
販売費及び一般管理費	15,130,726	15,257,501
営業利益	1,226,960	2,033,838
営業外収益		
受取利息	3,103	881
受取補償金	-	31,914
プリペイドカード失効益	28,841	30,086
その他	12,053	28,122
営業外収益合計	43,998	91,006
営業外費用		
支払利息	8,648	6,815
為替差損	8,850	-
その他	410	729
営業外費用合計	17,909	7,544
経常利益	1,253,049	2,117,299
特別損失		
減損損失	52,688	376,009
固定資産除却損	12,253	11,296
その他	-	7,875
特別損失合計	64,942	395,181
税引前四半期純利益	1,188,107	1,722,117
法人税等	561,931	783,889
四半期純利益	626,176	938,228

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	1,188,107	1,722,117
減価償却費	793,488	859,358
減損損失	52,688	376,009
引当金の増減額(は減少)	163,115	12,593
受取利息及び受取配当金	3,103	881
支払利息	8,648	6,815
為替差損益(は益)	134	116
有形固定資産除却損	12,253	18,357
売上債権の増減額(は増加)	161,954	299,344
たな卸資産の増減額(は増加)	65,715	89,713
仕入債務の増減額(は減少)	198,745	354,195
その他	40,848	158,731
小計	1,745,747	3,008,420
利息及び配当金の受取額	3,103	881
利息の支払額	6,603	5,212
法人税等の支払額	1,595,766	917,182
営業活動によるキャッシュ・フロー	146,481	2,086,908
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	1,464,411	1,085,962
無形固定資産の取得による支出	211,709	124,011
差入保証金の差入による支出	362,084	222,120
差入保証金の回収による収入	60,537	92,144
その他	5,517	58,072
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,983,185	1,281,876
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	800,000	-
株式の発行による収入	7,075	2,666
配当金の支払額	366,284	368,449
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,159,209	365,782
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	2,995,913	439,248
現金及び現金同等物の期首残高	5,049,862	3,956,164
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,053,949	4,395,412

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

販売実績

当第1四半期会計期間の販売実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目	当第1四半期会計期間 自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日		
	売上高(千円)	売上構成比(%)	前年同期比(%)
店舗販売			
ビバレッジ	17,787,362	74.5	104.3
フード	3,650,062	15.3	93.9
コーヒー豆	853,548	3.5	96.2
コーヒー器具等	1,117,045	4.7	104.9
店舗販売計	23,408,019	98.0	102.2
その他	472,524	2.0	103.7
合計	23,880,543	100.0	102.3

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。